

令和 2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800039	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	特定非営利活動法人 折本福祉サービス		
事業所名	グループホーム蘭寿おりもと		
所在地	(〒 224 - 0043) 神奈川県横浜市都筑区折本町1374-1		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和3年1月18日	評価結果 市町村受理日	令和3年3月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

ホームの周りは緑に囲まれ田畑が多く、お散歩などの環境面には恵まれております。日常生活の中で利用者様と職員が仲良く一緒に散歩することから一日が始まりましたが、コロナ禍で思うように散歩、外出ができなくなり大変心苦しく思っています。梅雨時など天候が悪いときは、フロア内でトランプ、塗り絵、歌レク、ボランティア様によるハーモニカ・フルート演奏会など多くの遊びを取り入れています。また、一年を通して季節に応じた様々な行事を行い、お花見、焼き芋大会、回転ずしなどは恒例になっており、地域の方による活動（お神輿・獅子舞・盆踊り）にも、積極的に参加しております。常に職員とご利用様が一体となり、喜びも悲しみも共有、傾聴させていただき、利用者様には安心して穏やかに過ごしていただけます様に日々努力しております。

今年はコロナ禍のため、以上に記載した日常生活を取り戻すことができず、ご家族との面会もリモートで行ったり、室内でできる多くのレクリエーション取り入れるなど、このような状況でも明るく楽しんでいただけるように、職員一同前を向き努力して参りたいと思います。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和3年2月15日	評価機関 評価決定日	令和3年3月16日

新型コロナウイルス感染防止の観点から書類調査方式とする

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇理念「利用者本位」に基づくケアの実践 ・職員は、理念の実現に向け13項目の行動指針「蘭寿クレド」を作成して、日々のケアが、行動指針に沿っているかを個々に振り返り、チームで確認し合っ、利用者の“今”を大切に、思いに寄り添った支援に努めている。 ◇地域に支えられ、地域と共にある事業所 ・事業所の周辺は田畑が多く、散歩で行きかう地域の方とは、挨拶を交わす顔見知りの関係にある。また、利用者と職員は地域の一員として地域の夏祭りや獅子舞、防災訓練に参加している。ボランティアも地域の方や利用者の家族が積極的に関わり、ランランコンサート、ハーモニカの演奏などで協力関係を築いている。 *今年度はコロナ禍でボランティアは中止している。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇マニュアルの整備によるきめ細かい業務の遂行 ・法人では、理念の実践に向けて「言葉遣い」の大切さを要とし、「利用者へ」「利用者の家族へ」「来訪者へ」「職員間」での状況に応じた対応について詳細に記載し、職員に配布している。また、非常災害対策とフローチャート「身体拘束廃止に関する指針」とその説明書、「プライバシー保護マニュアル」を基に、きめ細かな業務を遂行している。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	いぶき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者本位の理念（全職員で作成したクレド）を常に考え、職員同士が理解・共有し、利用者様にとって安心・安全な生活が送れるように努めています。	・理念の「利用者本位」を事務所やリビングに掲示している。 ・全職員で作成した「蘭寿クレド行動指針13項目」をもとに、日々その実践に努めている。振り返りで職員間の意識を高め、利用者に寄り添う介護に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の夏祭や獅子舞、お神輿等の行事や、防災訓練に参加しています。また、定期的に地域のボランティアの方をお招きし演奏会（らんらんコンサート・ハーモニカ・アングルンコンサート）を行い、交流を図っています。（コロナのため中止）	・自治会に加入し、地域の一員として地域の行事（夏祭りや獅子舞、防災訓練）に参加している。散歩で行きかう地域の方とあいさつを交わす心地よい関係が保たれている。 ・ボランティアによるランランコンサート、ハーモニカの演奏などは、今年度コロナで中止とした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事（獅子舞・夏祭・清掃）に積極的に参加をしたり、こども110番に登録をしています。また、運営推進会議等にて、利用者様の状況や支援等を伝えています。（コロナのため中止）		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度運営推進会議を行い、ご家族・近隣住民・区役所職員・地域ケアプラ職員に活動報告を行い、意見交換を行うと共に、地域資源の活用ができるように努めています。拘束についての考え方などもお話ししています。（コロナのため中止）	・2か月ごとに運営推進会議を開催し、事業所の現況を報告、主な行事や活動、事業所の課題等を報告して、意見交換の場としているが、今年度はコロナ禍で開催を中止している。	・コロナ禍で運営推進会議の開催が困難な現状にあります。文書等で事業所の活動を伝え、意見をもらい、相互理解を深める関係性の継続が望まれます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議やブロック会議等にて担当者から連絡を受けたり、取り組みなどの報告を行っています。生活保護の方が数名おられるため、区役所の方とは連絡を取り合っております。（コロナの為中止）	・区の高齢支援課、生活支援課とは密に連絡を取り合い、情報を共有している。 ・グループホーム連絡会や都筑・港北ブロック会議に参加して、各種情報を入手し、事業所の運営に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について定期的に勉強会（フロア会議）を行い、理解を深め職員間で情報共有しています。見守りなどを徹底し、身体拘束を行わないケアの実践に努めています。	・「身体拘束廃止に関する指針」の周知を図るため、フロア会議で年2回研修を行っている。各職種の役割を明確にして、チームケアの取り組みにより、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について定期的に勉強会を行い、直接的だけでなく間接的な虐待も見過ごさないよう、職員同士常に声を掛け合いながら防止に努めています。言葉の暴力を含めスタッフ同士で注意しあうように指導しています。（コロナの為勉強会は一部中止）		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今現在制度を活用しているため、職員一人一人が理解できるよう、今後も継続的に取り組んでいきたいです。		
		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の見学時や、契約の際には必ずご家族様には説明を行っています。また、不安や疑問が生じた際には、その都度説明を行えるように体制を整えています。本契約時には説明と同意のもとにご納得頂き契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には、定期的にお手紙やお電話、来訪時に近況報告を行っています。その際ご意見・ご要望を伺い、職員間で情報を共有し、日々の支援に反映できるよう努めています。ケアプランの説明時にはご家族様に必ず要望をお聞きしています。	・毎月、利用者の様子を手紙に写真を添えて家族に送る際、意見や要望を尋ね、運営に反映させている。また、面会時（コロナ禍で不可）、電話連絡や介護計画の更新時に意見や要望を聞き取り、ケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員より意見や提案などを聞く機会を設けたり、申し送り時や会議などで話し合い職務に反映させています。また、管理者は定期的に職員との面談を行っています。	・管理者は、毎日の申し送り時や各種会議時、職員面談時に意見や提案を聞き取り、事業所の運営に反映させている。 ・管理者は、職員が事業所内で気軽に話ができるよう配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日頃から、勤務状況の報告を受け把握をしているとは思いますが、給料水準の明確な評価基準がありません。不平不満がある際には業務中だけでなく、休憩時間などを利用し、積極的に聞くように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に施設内研修を行ってはおりますが、外部研修を受けた際には、その情報等を職員全体で共有し、反映できるように機会を設けています。（コロナの為中止）		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交換研修や情報交換を行ったり、ブロック会議などに参加し、サービスの質の向上を図る取り組みをしています。（コロナの為中止）		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、不安な事や困っている事等をご家族様やご本人様からお聞きしています（家族シート等）。利用者様との関りを大切にし、1日でも早く慣れていただけるよう、安心して生活していただけるような関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にはしっかりと説明を行う。また入居後は、来訪時やお電話、ケアカンファレンス等にてご家族様とコミュニケーション取り、不安なく安心していただけるような関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	、		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、その方ができる事を見極め役割として家事(掃除・洗濯・料理)を通じて立場にとらわれない関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常にご家族様と連携を図りながら、共に支えていける関係を築けるよう努めています。また、毎月近況をお知らせするお手紙を送付しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪時やお電話にてご家族様から情報交換を行い、慎重に対応するよう努めています。馴染みの方や場所との関係が途切れないよう支援しています。	・入所時のアセスメントや本人、家族から情報を得て、馴染みの人や場所との関係を把握している。 ・利用者は地元の方が多く、来訪時には、寛いで話ができるように配慮している。また、家族との電話の取り次ぎや買い物を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの性格や関係性を把握し、職員が間に入りながら、日々のお手伝いやレクリエーションを通して、利用者様同士が関り支え合える様に努めています。また、利用者様同士の相性なども考えた環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も関係を大事にし、いつでも相談・支援ができるような環境作りに努めています。次の行き先である施設選びにも協力しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者本位の理念の元、利用者様にとって、どのような事が望ましいのかを考え、利用者様・ご家族様の希望・意向に沿えるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族から従来の暮らし方や思いを聞き、把握している。職員間で情報を共有し、利用者に寄り添う支援に努めている。 ・利用者の思いや意向の把握のため、職員は寛いで一対一で関わられる機会を大切にしている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様からお聞きし、今までの暮らし方や生活環境、入居に至る経緯などを、会議の際に職員へ説明を行い情報の共有をし、サービスへ活かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子をしっかりと観察・記録し、ケース・業務日誌や連絡ノート、申し送り時などから、些細な体調変化も見落とさない様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングやケアカンファレンスを行い、職員の意見や提案事項を聞き話し合い、状況把握に努めています。また、ご家族様からも意見などをお聞きして介護計画に反映させています。	・毎月のカンファレンスで全利用者のモニタリングを行い、本人、家族の要望と医療関係者の意見を入れ介護計画を作成している。 ・介護計画は6か月ごとに見直し、状況変化時にはその都度、見直し対応している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や申し送り・連絡ノートを活用し情報共有しながら業務を進め、色々な情報を元にその都度見直しを行っています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況・状態に合わせて、多角的なケアが行えるよう職員間で情報の共有をし、日々の変化を把握して必要に応じて訪問マッサージや通院等の支援を行っています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その方に合った地域資源を見極め、それらを活用することで、日々の生活が安全で快適に送れるように支援しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科・皮膚科・訪問看護にて健康状態の把握をし、また報告も行っています。万が一受診が必要になった時には直ぐに対応できるように連携を図っております。	・連携医療機関とは24時間医療体制ができています。内科は、全利用者が協力医をかかりつけ医とし、2週間ごとに訪問診療を実施している。歯科、皮膚科、心療内科の往診体制も整っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護にて、日々の健康状態や状況の報告を行い、適切な受診や看護が受けられるよう体制を整えております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には面会や電話連絡し、病院関係者やご家族様と情報交換や相談を行い、早期に退院できるよう体制を整えております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の方針については、事前に向診医・ご家族様・職員間で話し合っ共有し、ご本人にとってより良い場所等を支援できるように努めています。	・契約時に「重度化・看取りに関する指針」を家族に説明し、同意を得ている。 ・重度化し、また、看取りが必要となった場合は、対応を家族と話し合い、協力医と相談する方針である。これまで1件看取りを行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを職員室に掲示すると共に、フロー会議などで勉強会を行ったり、申し送り時などに職員間で情報の共有をし、全職員が対応できるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に職員・利用者様も交えての避難訓練を行い、避難経路等の確認を行っています。また、地域消防署より避難経路の確認や指導、近隣の方との協力体制を整えています。	・避難訓練は、夜間想定を含み年2回実施し「非常災害対策計画(風水害・地震・火災)」を作成して、職員間で共有している。 ・「備蓄リスト」には、倉庫と各ユニットに、およそ30日分の非常用食料と飲料水を、および、防災備品を備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの自尊心を傷付けないよう常に尊敬の念を持ち、傾聴や言葉掛けの際にはじゅうぶん注意を払って対応しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は「プライバシー保護マニュアル」および「蘭寿クレド（職員行動指針）」を理解し、利用者の人格尊重とプライバシーの確保に努めている。 ・不適切な対応や言葉かけに、職員同士でも注意し合い、日々のケアに取り組んでいる。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の意見や思い、何を希望されているのか自己決定出来るような場を、できるだけ増やしていけるように努めています。本人が思いを伝えられない場合は、ご家族様にも相談しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の目線・立場になって考え、一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活を日々送れるよう努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人やご家族様に希望等をお聞きし、一人ひとりに合った、その方らしい身だしなみやお洒落ができる様に支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものをお聞きしたり(週1回希望食)季節を感じていただけるよう毎月行事を行い、旬の食材を使った食事やおやつを取り入れています。また、無理のない範囲で準備や食事、後片付けをしていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1度は、利用者の好みを聞き、献立に反映している。また、季節の行事や、旬な食材を使った食事を取り入れ、利用者が楽しめるように努めている。 ・利用者は、できる範囲で食事の準備や後片付けを手伝っている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量などを細かく記録し確認する事で体調の変化に気を付け、利用者様一人ひとりに合った適切な量を提供できるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔保持の為、毎食後必ず口腔ケアを行って頂いています。ご自分で出来ないところに関してはお手伝いをさせて頂き、ご本人やご家族の希望の方に関しては歯科往診の支援もしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	業務日誌に記載する事でその方一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行い、できるだけご自分で排泄ができるよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄記録を活用し、利用者のパターンを把握し、個々の利用者に合わせて声かけや誘導で、自立に向けた支援をしている。 ・排便困難な利用者には、こまめな水分補給や乳製品の摂取、運動などで個々に排便を促している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や散歩などで腸の動きを良くしたり、こまめに水分摂って頂くのはもちろん、乳製品やオリゴ糖などを摂取しています。また、往診医と相談し薬の調整を行い、個々に応じた予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や状況に応じて、出来る限り希望に沿うよう対応しています。入浴の際には体調に問題のない程度にゆっくりと入っていただけるよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は週に2~3回、できるだけ利用者の希望に沿えるように調整し、時間を気にせず余裕をもって入れるようにしている。 ・入浴を楽しむ工夫として、入浴剤 菖蒲湯・ゆず湯でくつろいで貰っている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	身体の負担にならないよう、利用者様一人ひとりの生活リズムに合わせて、いつでも安心して気持ち良く寝て頂けるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の際には必ず2人で確認しながら行っています。服薬時や服薬後、状態に変化がないか注意し、異変があった際には往診医に報告し指示を受けています。また、常に最新の服薬内容を把握できるよう薬説ファイルを作成しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人やご家族様にお聞きしたり、日頃の会話から趣味嗜好を把握し、張り合いや楽しみながら生活していけるよう気分転換等の支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候に注意しながら近隣へ散歩に出掛けたり外気浴を行っております。また1～2か月に1度、外食の機会を設けております。	・コロナ禍ではあるが、体調や天候に注意しながら、外気浴や散歩に出かけるようにしている。 ・利用者の希望に沿える個別支援はできないが、1～2か月に1度は外食の機会が持てるようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様個人での管理は難しく、またトラブルの原因になるので事務所にてお預かりしていますが、その都度外出に必要な分をお渡ししています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望の際にはご家族様に連絡し、いつでも電話を掛けれるように支援をしています。また、ご本人やご家族様の希望があれば携帯電話を持つことも出来ます。手紙のやり取りに関しても、常時行えるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に整理整頓掃除を行い、清潔な空間であるように心がけています。廊下やリビングの壁には、季節の飾りつけや行事の写真などを貼りだし、居心地よく過ごしていただけるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> 廊下・リビングなどの共用空間には、行事の写真や季節の飾りを取り入れ、温湿度、臭気にも気が配られている。 共用空間は、掃除や消毒が行き届き、利用者が密にならないように一人ひとりが寛げるようにしている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを設置し、一人もしくは気の合った利用者様同士で利用頂いています。場合によっては職員が間に入って会話をするなどし、少しでも居心地のよい空間になるよう支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ環境が変わらないよう、以前から使用していたものを取り入れ、居心地よく過ごしていただけるよう努めています。（ベッド・カーテン・机・いす等）	<ul style="list-style-type: none"> 居室には、利用者が使い慣れたベッドや机などを配置し、居心地よく過ごせるようにしている。 職員による清掃が行き届き、室内は清潔で居心地良く過ごせる環境にある。職員と一緒に掃除をする利用者もいる。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食事の準備や後片付け、洗濯物たたみなど、できることはお手伝いをして頂き、自立した生活が送れるよう支援しています。		

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	あけぼの

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員はお互い「利用者様本位」の理念が出来ているのか確認しあっており、疑問が生じた場合には、直ぐに話し合っている。管理者は、申し送りに参加する等、常に把握する様に務めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年は行事が中止となってしまったが、獅子舞・お神輿・盆踊りに参加させて頂き、地域との関りを大切にしている。（コロナの為）		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	こども100番の登録・AEDの設置を行い、地域活動に参加できる様に努力している。今後も、地域貢献出来る様に務めて行く。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年は、中々開催する事が出来なくなってしまうが、本来は3ヶ月に1度は定期的に運営推進会議を開催し、ホームの様子を報告し、地域の方から出た意見を生かせる様に務めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所のケースワーカーの方へ詳しく状況報告を行い、連携を密にし、何かあった時には協力が得られ易い状況を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束・言葉の暴力や虐待について、会議や申し送りで勉強する機会を定期的に持つ様にして、意識の向上に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴を時間を大切にし、入居者様のお身体の状態を細かく確認している。また、職員同士は常にお互いの行動を注意深く観察する様に務めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議や申し送りの時間などを利用し、制度について学べる機会を多くし、ご利用者様の権利が守られているのかを確認している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は事前に面談などを重ね、不安な事はないか？疑問に思っている事はないか？細かい所まで確認を行い、不安や疑問があった場合には、納得されるまで説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時には、必ず現状の報告を行い、そこで得られた意見や要望は、速やかに管理者へ報告し、迅速な対応を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者フロア会議や申し送りに参加し、職員の意見や提案の確認に努めている。得られた意見は、直ぐに上司へ報告している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は積極的に職員とのコミュニケーションの場を持つ様にし、職員一人一人が向上心を持って働ける様に務めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員の力量を把握し、一人一人にあったスキルアップの為の研修の場を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同じグループホームと交換研修の場を設け、お互いの活動を学び合い、サービスの向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様に積極的に話し掛け、不安や困った事はないか、話しやすい関係性作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には十分な説明を行い、入居後はご家族様へご利用者様の状況を報告しながら、ご要望がないか確認している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様が必要としている要望をしっかりと見極めて、適切な支援が受けられる様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お一人お一人の状況を細かく理解し、お手伝いなどを通して、張り合いが持てる様に支援し、信頼関係の向上に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月月末には、ご本人様の状況が分かる様にお手紙をお送りし、ご家族様にも今の状況を把握して頂いている。イベントへは積極的に誘っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様や、ご家族様からご要望があった場合には、外出支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員はお一人お一人の趣味や趣向等を出来るだけ多く把握し、ご利用者様同士が共通の話題や趣味趣向を通し、良好な関係が築ける様に務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、出来る範囲で関りを持ち、ご本人様とご家族様をフォローして行ける様に務めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様やご家族様から得られた情報を生かし、ご本人様本位の暮らしが出来る様、工夫して支援に努める。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様から、今迄の暮らしについて伺い、ご本人様が心地良い生活環境を整えていける様に務める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝晩の申し送りや、業務日誌・申し送りノートやPCのケース記録に細かく記載する事で、職員全員がお一人お一人のお身体の状態を把握することが出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングに基づき、介護計画を職員と確認しながら作成し、ご本人さまやご家族様の要望も含めた計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	会議や、朝晩の申し送りで出た意見や、日々の生活で得た小さな気付きは、申し送りノートへ記載し、職員全員が把握し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の状況を踏まえ、介護ヘルパーの支援や、各関係機関へ繋げられる様に支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様からのご要望などがあった場合には、速やかに関係機関と協力し、支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・皮膚科・歯科の定期的な往診があり、毎週火曜日には訪問看護に診て頂いている。お身体に変化が見られた場合には直ぐに適切な医療が受けられる様になっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日の訪問看護で、細かく申し送りを行っている為、必要な場合には適切な受診が受けられる様になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医が各専門の医療機関で治療が受けられる様に手配して下さるので、病院関係者と情報共有を密に行い、退院までの流れを把握できる様に務めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設での対応に限界を感じた場合には、ご家族様・医師・看護師・職員と今後の事に付いて話し合いの場を持っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に誰でも対応出来る様に、マニュアルが作成されており、職員は定期的に確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月、避難訓練を行い、万が一に備えた対応が出来る様にしている。地域の消防署の方が消火設備の点検や、避難経路の確認を行って下さっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保や、お声掛けなど誇りやプライドが損ねられない、十分に配慮した対応が出来ているか、職員同士で声を掛け合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望通りになる様、職員は自分の勝手な意見や思い込みをしない様に注意している。また、自己決定が出来ない方は、ご家族様に伺う様にする。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様本位の支援になる様、職員の都合を押し付けたりせず、ご本人様のペースに寄り添い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様やご家族様の意見を取り入れ、その方にあった身だしなみが整えられる様に支援している。また、2ヶ月に1度、理美容が受けられる様になっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事や、旬な食材を取り入れたお食事が提供出来る様に支援している。可能であれば、準備等お手伝いして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業務日誌には細かく水分量や食事量が記載出来る様になっており、誰でも分かる様になっているので、職員同士で共有しながらバランスの良い量が提供出来る様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人の状態に合わせて、声掛けを工夫したり、ご自分では出来ない方は、職員が行う様になっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	業務日誌にトイレを使用した時間等、細かく記入する事により、排泄のパターンを把握しやすくなっている。夜間も、自立に向けた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	往診医の指導の元、適切な医療の提供と、十分な水分量やヨーグルト等の摂取により、自然な形で排泄出来る様に支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人様の希望に成るべく添える様に調整し、時間を気にせず余裕を持って入浴できる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人に合わせた時間に就寝の支援が出来る様にしている。また、寝具の清潔を保てる様に気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	最新のお薬の情報がいつでも直ぐに確認できる様にしており、変更時には職員全員に情報が行き渡る様にノートに記載している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の得意な事や、好きな事を生かして、日々の生活に張り合いが持てる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気が良い日には、外気浴やお散歩に出掛けられる様に支援している。また、ご家族様と協力しながら、外出支援が出来る様に務めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来る方は、ご家族様の了承の元、手元に置いて頂いている。自己管理が出来ない方に付いては、職員が事務所でお預かりし、必要な時に何時でも直ぐにお渡し出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも使える状態になっており、ご希望があった場合には直ぐにお繋ぎ出来る様にしている。また、お手紙も職員がお手伝いし、出したい時に出せる様に支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の物を取り入れた空間を作り、四季を感じて頂いている。また、臭いにも気を配り、心地良い空間が保てる様に配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の性格や、趣味等をご一緒に楽しめる様な空間作りをしている。また、お一人でも楽しんで頂ける様に、ソファの配置なども行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、今までの馴染みの物を多く取り入れて、居心地の良い空間になる様に努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人様の状態を細かく確認した上で、成るべくご自分でも自立した生活が送れる様に、安全面を考慮しながら支援している。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム蘭寿おりもと

作成日 令和3年3月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ禍のため、運営推進会議が昨年の3月より開催できておりません。地域の方へいろんな行事にお誘いして参加くださっているのですが、今期は控えさせていただいております。	会員の皆様に書面やブログ、リモートなどで蘭寿内の様子を発信できればと思います。また、コロナの状況を見ながら開催できるような環境を作って参ります。	2か月に1回の開催ができなくなりましたが、ご利用者様たちのご様子を書面や写真、ブログなどで6か月に一度の割合で、会員の皆様に発信していければと思います。また、換気・アクリル板・マスクを使用しながら感染対策を徹底し、開催の検討も行って参ります。	コロナの状況を見ながら、検討して参ります。
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。